2025 年 5 月 22 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長　グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739　東証プライム市場)

スパークス・グループ、「SPARX　未来・宇宙サミット」を開催

—「未来創生ファンド」設立から 10 周年、「宇宙フロンティアファンド」設立から 5 周年を迎え
両ファンドの関係者 300 名超が一堂に会したサミットを開催—

スパークス・グループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：阿部修平、以下、スパークスと表記）は、2015 年に設立された「未来創生ファンド*1」と 2020 年に設立された「宇宙フロンティアファンド*2」が共同で「SPARX 未来・宇宙サミット」を 2025 年 5 月 21 日に開催し、未来社会に向けた成長を牽引しうる技術を有する事業を対象に投資する両ファンド関係者が一堂に会し、日本のベンチャー・エコシステムの発展を目的に様々なプログラム（パネルディスカッション、スタートアップによる 1 分間プレゼンテーション等）が展開されました。

両ファンドの設立からこれまで（2025 年 5 月時点）の投資実績は、未来創生ファンド（1 号、2 号、3 号合わせ）約 150 社、宇宙フロンティアファンド（1 号、2 号合わせ）約 20 社と、両ファンドがそれぞれの領域において日本有数のベンチャーキャピタルに位置するまでに成長しており、引き続き日本のベンチャー・エコシステムのさらなる発展に向けて寄与して参ります。

本サミット開催の様子は、下記 URL よりご覧いただけます。
https://mirai.sparx.co.jp/news/detail/2451.html



■代表取締役社長・CEO 阿部修平 コメント

スパークスは 1989 年の創業以来、上場企業を中心とした投資を続けてまいりましたが、時代の変化と共に、AI やロボティクスなど次世代技術に着目し、非上場の成長企業への投資にも挑戦してきました。2015 年に「未来創生ファンド」を立ち上げ、本年で 10 周年を迎えます。

また、地球規模の課題に対応する新たなフロンティアとして宇宙領域にも着目し、2020 年に「宇宙フロンティアファンド」を始動。本年、5 周年を迎えることができました。
私たちは投資を、現在と未来の価値の差に着目する営みと捉え、上場・非上場にとらわれず、誠実に価値を見極める姿勢を貫いてまいりました。今後も 10 年、20 年先を見据え、夢ある未来に資本を投じてまいります。

■スパークス・アセット・マネジメント株式会社 次世代成長投資本部長 出路貴規 コメント
私たちは、AI・モビリティ・宇宙といった次世代のフロンティアに果敢に挑むスタートアップ企業と共に、未来の産業を形作ることを目指してまいりました。
創設から 10 年を迎えた未来創生ファンドが累計約 150 社、そして 5 周年を迎えた宇宙フロンティアファンドが約 20 社の投資実績を築けたことは、素晴らしい投資家の皆さま、素晴らしいビジネスモデルや技術で世の中にインパクトを残そうと努力されている起業家の皆さま、その他多くのご関係者の皆さまのご支援とご信頼の賜物です。投資とは、未来に対する確信の表れであり、その確信は綿密な調査と現場での対話から生まれます。
今後も私たちは、社会課題の解決に資する技術と志を持つ企業を支援し、投資を通じて持続可能な未来の創造に貢献してまいります。

■*1「未来創生（1 号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要
　未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野 に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社 をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2025 年 4 月末時点の出資約束金額の累計は、1 号、2 号および 3 号をあわせて 1,778 億円となっています。

■*2「宇宙フロンティア（1 号）ファンド」、「宇宙フロンティア 2 号ファンド」の概要
　宇宙フロンティア（1 号）ファンドは宇宙開発に関わる人材・技術を支援し、世界と戦える日本発の宇宙企業を育成すること、更には、日本全体の技術革新に貢献することを主たる目的として、2020 年 6 月にスパークスの子会社スパークス・イノベーション・フォー・フューチャー株式会社を運営者とし、総額 92 億円の出資により運用を開始。2024 年 4 月よりスパークスの子会社スパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、スパークス・アセット・マネジメントと表記）が運用しています。2024 年 4 月には、宇宙フロンティア（1 号）ファンドから継続する形で、スパークス・アセット・マネジメントをファンド運営者とした宇宙フロンティア 2 号ファンドの運用を開始しました。2025 年 4 月末時点の出資約束金額の累計は、1 号、2 号あわせて 223 億円となっています。

■本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com